

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

令和3年7月1日 第241号

目 次

「会長挨拶」新型コロナウイルス感染拡大と協会活動	1
令和3年度 第1回理事会 議事録	2
令和3年度 第2回理事会 議事録(抄)	3
令和3年度 第62回定時代議員総会 議事録	9
令和3年度 技能認定登録制度の特例措置の継続実施	10
令和2年度 正味財産増減計算書	11
令和2年度 貸借対照表	13
令和2年度 監査報告書	14
会員実態調査の実施について	15
諸会議及び役員渉外行動報告	16
本部発信文書一覧	17
第69回 日本理学療法学会 動画配信・会員発表案内	18
第43回 理学療法指導者講習Web講習会 開催案内(伝達講習会)	19
第44回 理学療法指導者講習会 開催案内	19
提言・要望(要旨)	20
認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会 開催案内	21
令和3年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表(暫定)	22

「会長挨拶」

新型コロナウイルス感染拡大と協会活動

公益社団法人 全国病院理学療法協会
会 長 平 野 五十男

新型コロナウイルス感染拡大の収束の見通しが立たない中で、変異型の感染が拡大するなど、まだまだ予断を許さない状況にある。

6月10日現在、緊急事態宣言が北海道・東京・愛知・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡・沖縄の10都道府県に発令され、宣言に準じた対策が必要な「まん延防止等重点措置」も群馬・埼玉・千葉・神奈川・石川・岐阜・三重・熊本の8県に適用されている。

一方で、ワクチンの接種が本格的に始まったことで、収束へ向けて大きな転換点を迎える可能性も出てきたことに大いに期待したい。

本協会でも、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度は多くの事業が中止や延期となった。「第69回日本理学療法学会」は1年延期となり、本年5月29日～30日に名古屋市においてWeb学会として開催された。

このWeb学会は、6月27日より協会HPに配信が行われ、学会参加費を納入した会員は、視聴することにより技能認定登録の10単位を取得することができる。監査会・理事会についても、遠距離の移動、宿泊、多人数での集会が自粛となっているため書面表決の方策を引き続き講じている。本協会の定款には、毎年5月に代議員総会を開催すると規定されているが、書面表決により議案の承認を受ける「みなし代議員総会」を実施した。

学術活動も理学療法指導者講習会のWeb配信や、北海道会や東京都支部でのWeb研修会の開催など、徐々に学術活動が再開されつつある。

運動療法機能訓練技能講習会は、コロナの感染状況にもよるが9月中旬より神奈川県支部で開講を予定している。

地方学会については、11月に中国四国理学療法学会（香川）が対面式で開催を予定しているが、東北理学療法学会（山形）と関東甲信越理学療法学会（東京）は、来年に延期となった。

技能認定登録制度に係る単位取得が困難な状況は相変わらず続いているため、取得単位不足の会員への対応策として「認定登録更新期限延長」の特例措置を今年度も継続して実施している。

2月末に生形事務員が退職し専従の事務員がいない中で、杉浦公益法人管理部長と青柳副会長に応援を求め、事務処理に当たっている。1日も早く新型コロナウイルスが収束し、協会活動が通常の状態に戻ることを願っている。

令和3年度 第1回理事会 議事録

1. 理事会の決議があったものとするみなされた事項の内容

第62回定時代議員総会議案書(広報240号に掲載)の、第1号議案、第2号議案の承認を行った。

第3号議案、第4号議案、第6号議案、第7号議案は、代議員総会提出議案として承認済み。

- | | | |
|-----------|--------------------|----|
| (1) 第1号議案 | 令和2年度 事業報告 | 承認 |
| (2) 第2号議案 | 令和2年度 収支決算報告及び監査報告 | 承認 |

第4号議案 第70回日本理学療法学会の学会長、準備委員長の承認 審議未了

令和3年3月7日に開催された「令和2年度第7回理事会」(オンライン形式)で、学会長、準備委員長が未定のまま開催地を広島県とすることを再確認した。しかし、その後、当該支部総会において、学会開催を受諾できないと決議されたため、開催地、学会長、準備委員長について保留中で、開催地等が決定次第、理事会、代議員総会で承認を図る。

2. 理事会の決議があったとみなされた事項の提案者

代表理事 平野五十男

3. 理事会の決議があったものとみなされた日

令和3年5月13日

4. 議事録の作成に係る職務をおこなった理事

代表理事 平野五十男

5. 理事総数9名の同意書

別添のとおり。

6. 監事総数2名の意義がないことを証する書類

別添のとおり

令和3年5月5日、代表理事・平野五十男が、理事及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の議案書を発送し、当該提案につき令和3年5月13日までに、理事全員から文書により同意する旨の意思表示を、また監事全員から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、定款第31条4項に基づき、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

以上のとおり、理事会の決議があったものとみなされたことを明確にするため、この議事録を作成し、議事録作成者が記名押印する。

令和3年5月13日

公益社団法人 全国病院理学療法協会

代表理事 平野五十男 印



令和3年度 第2回理事会 議事録(抄)

日時 令和3年6月13日(日)10:20～13:00

場所 協会事務所・他

出席者 <オンライン会議>

理事 平野五十男(会長)

青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)

小川 嗣人(副会長・学術局長)

小路口 憲(常任理事・広報局長・理療編集出版部長)

丹羽つとむ(常任理事・組織局長)

三浦 政則(財務局長)

野山 隆司(事務局次長・情報管理部長)

寒河江健一(広報局次長・特殊出版部長)

坂原 博昭(組織局次長)

監事 中川 保

大内田義己

相談役 柳澤 貞男(表彰選考委員長)

公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

第69回 日本理学療法学会学会長 加藤 尚浩

欠席者 倉石 健二(相談役・表彰選考委員)

開会に先立ち青柳事務局長より、出席者数および理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、併せて報告事項は青柳事務局長が司会進行を。議案は平野会長が議長を務めること。また書記、録音は小路口広報局長、寒河江広報次長が担当することが告げられ、事業及び各部局の報告と議案の審議が行われた。

1. 報告事項

報告1) 第69回 日本理学療法学会(Web学会)経過報告

加藤 5月29日、学会役員その他、平野会長、野山理事、工藤北海道地方会執行委員長が出席しWeb学会の収録を行った。緊急事態宣言の影響により学会収録は名古屋ガスビルのほか、岐阜市内のホテルを録画会場として、特別講演並びに開会式、閉会式の収録を行った。6月11日現在Web学会の参加者は256名になっている。参加者の募集は6月13日で〆切とします。6月19日に学会申込者へWeb学会の視聴方法、単位取得申請書な

どを送付する予定でいる。

野山 準備委員会と動画収録業者のリミテック社の協力によって、Web学会の収録は予定とおりに行われたと感じている。現在、6月27日からの配信開始に向け準備を進めており、協会ホームページ上に動画配信ページを設け視聴できるようにする。Web学会の動画視聴については視聴者の視聴確認ができるので、後日集計を行い報告する。(第69回日本理学療法学会動画配信案内P18参照)

報告2) 諸会議及び役員渉外行動報告

平野 諸会議並びに役員渉外行動、本部発信文書については報告書のとおりである。

(諸会議及び渉外行動報告P16参照)

(本部発信文書一覧P17参照)

報告3) 会費長期未納者の除籍処分について

三浦 除籍処分対象者1名より3年分の年会費入金があったため、除籍から外すことにした。会費長期未納者へ文書を送付したが、3名の所在地が不明で返却されている。

報告4) 診療報酬改定に係る要望活動の進捗状況

青柳 令和4年度の診療報酬改定に向けての要望活動では、厚生労働省の担当官より、あはき師関連団体共同で要望をしてはどうかと助言もあり、あはき師7団体へ働きかけを行った結果、3団体より共同要望の承諾を得たので本協会を含め4団体で診療報酬改訂の要望を行う。令和3年度の介護報酬改定で示されたADL維持等加算については、今後、内容を精査し情報の提供を検討する。

野山 今後の診療報酬の要望活動につい

- ては、あはき師団体と共同要望で行う予定なのか。
- 青 柳 同じ資格をもっている団体と歩調を合わせて要望活動をして行かなければならないと考えている。
- 中 川 運動器リハビリ学会への共同要望の働きかけはしているか。
- 青 柳 今回は考えていない。今後検討して行く。
- 小路口 東洋療法の団体と共同して行うのも良いが、消炎鎮痛処置料など診療報酬の影響で会員が減少し協会の存続にもかかわる状況を見ると、医療の場でリハビリに従事している者としては、理学療法士会や作業療法士会などから要望活動の協力を得ることはできないか。
- 青 柳 理学療法士会等へ協力を求める認識は今までの段階では持っていなかった。
- 小路口 リハビリテーションの職能団体として学会の開催では後援をいただいている。医療の中でリハビリテーションに従事している職能団体として支援を求めることはできないか。
- 平 野 保険点数にかかわることでもあり、難しい面もある。
- 小路口 東洋系の医療職として医療に残れるかどうかの状況に来ている。病院内のマンパワーとしての必要性を問えないか。
- 青 柳 今後、打診を検討する。
- 小路口 良い方策を考えていただきたい。
- 平 野 わかりました。

報告5) 協会ホームページの更新履歴報告

野 山 今年度は介護報酬改定情報について更新している。第69回日本理学療法学会のWeb学会の視聴方法などについて今後ホームページへ掲載する。

報告6) 会員実態調査 集計報告

丹 羽 4月29日以降、6名より退会届が提出され、1名より入会届けが

出されています。

新年度に入って5名減少し、現在の会員数は1,228名。昨年度末に行った会員実態調査の回収率は49.96%に止まり、ここまでのアンケート集計結果としては、会員の高齢化が進んでおり、定年前後(60歳以上)の会員の割合が33%(50代以上は68%)。

今後の対応として、若い年代の会員の確保、運動療法機能訓練技能講習会の開催で会員を確保するなど、また他団体への働きかけとして臨床整形外科協会(運動器リハセラピスト協会など)への働きかけや、養成校への当協会のパンフレット配布(卒業生への入会案内)などの取り組みが必要。

会員の勤務先としては、病院診療所勤務者の割合が約62%であり、医療従事者の地位確保(厚労省、関係団体への働きかけ)が課題である。介護施設勤務者への当協会への入会を促すため、入会後のメリットの発信、魅力・意義などの検討が必要。

消炎鎮痛処置料の診療報酬地位確保については、臨床整形外科協会への働きかけを検討すべき。

オンラインの可否についての調査では、動画接続環境が無い会員約21%であり、接続環境のない会員への救済方法の検討も必要である。

今年度も未提出会員に提出を促すため、もう一度アンケート用紙を配布する。

今回おこなう会員実態調査のアンケートの回収、集計方法はどのようになるのか。

丹 羽 7月の広報にアンケート用紙を同封し発送します。回収方法については未提出の会員より直接本部へ提出してもらいます。前回、回答している会員は再提出しないよう説明を加える予定である。

(会員実態調査の再調査実施のお

願い P15 参照)

報告 7) 広報編集と発行状況

小路口 年 3 回の発行を予定している。次の広報 241 号は、7 月上旬発行予定で編集を行っている。

報告 8) 理療編集と発行状況

小 川 196 号を 5 月に発行しています。次号は 8 月発行の予定。

報告 9) 第 44 回 理学療法指導者講習会の進捗状況

小 川 令和 3 年 10 月 17 日(日) 愛知県一宮市で腰痛疾患に対する神経ブロック鍼療法をテーマに、感染対策を徹底し、対面式で開催する。開催の詳細については広報 P19 参照ください。

報告 10) 令和 3 年度 運動療法機能訓練技能講習会開催について

小 川 神奈川県支部で開催する。すでに受講者の募集を開始している。

丹 羽 講習会の期間はいつから始まるのか。

小 川 9 月より開始し、1 月終わる予定。現在、2 件の問い合わせがある。

報告 11) JCB における退会者からの会費引落としと今後の対応

平 野 JCB から会費を引落とす際に、過去の退会者 23 名が会員名簿に記載されていたため会費の引き落としが発生し、退会者へご迷惑をかける事態となった。

今後は、このようなことが起こらないよう、会費引き落としデータの管理を徹底します。

報告 12) 公益目的事業資金の定期預金再積立て

平 野 定期預金から、年度始めの地方交付資金に借用した 1400 万円について、今年度の会費納入から、1400 万円を定期預金に返した。

報告 13) 令和 2 年度 決算剰余金について

杉 浦 令和 2 年度の決算剰余金 670 万円の用途について報告します。記念学会の準備資金として 170 万円、残りの 500 万円についてはオンライン研修の環境整備費用、財務クラウドのシステムリニューアルに関する費用、技能講習会教材の整備費用、協会本部にある書類等を保管するためのレンタル倉庫の賃料に計上する。これらの予算書を作成し公益認定委員会へ提出することを報告する。

報告 14) その他

2. 議 題

議題 1) 令和 3 年度における事業計画概要について

(1)事務局

青 柳 事務局の事業としては広報に示してある令和 3 年度事業計画のとおりであります。現在、事務職員が欠員となっているため、事務処理の遅延が起こる場合も有るのでその点ご理解願う。

(2)学術局

小 川 第 43 回指導者講習会のオンライン配信は、7 月 1 日より募集を開始し、8 月 1 日より 1 カ月間配信します。詳細については広報の Web 講習会開催案内をご確認を。関東甲信越地方会の理学療法学会は来年度に延期となる。11 月の中国四国理学療法学会は対面式で開催する予定。

(第 43 回理学療法指導者講習 Web 講習会開催案内 P19 参照)

杉 浦 今年度の関東甲信越地方学会は行わず、来年 10 月 23 日に東京教育会館を会場に対面式で行う予定です。

野 山 年間の学術活動の予定を、理事会前に理事へ周知願いたい。

小路口 その他の地方学会の予定について

は開催するのか。
寒河江 東北地方学会では9月12日の開催を予定しているが、7月末に山形県支部で開催か延期になるかを検討する。
坂原 中国四国理学療法学会は、四国地方会で8月末に開催の有無について最終決定をすることになっている。

(3)広報局

小路口 広報は7月、12月、3月の発行を予定しています。発行においては、会員へ伝える必要性を第一に考え、限られた広報紙面の中で編集校正作業を行います。現在7月号の発行に向け寒河江広報次長とともに編集作業中である。

(4)組織局

丹羽 現在の状況では、本部に出向いての作業ができないため、会員登録関係の作業を会長等に任せている状況である。

(5)財務局

三浦 税理士法人との財務作業、事業活動が滞りなく行われるように適切な資金運営を図ります。また、会費の速やかな納入や未納者の徴収に務める。

(6)理療編集部

小路口 8月に理療197号を発行する。展望を小川嗣人先生、臨床基礎講座Ⅰを中山恭秀先生、臨床基礎講座Ⅱを木村和樹先生、東洋医学基礎講座を渡辺明春先生より、また第69回日本理学療法学会特別講演講師の戸田香先生、細江英夫先生より、それぞれ寄稿をお願いしている。また、認定試験問題の模範解答を渡会洋一先生をお願いしている。次号の理療198号は11月の発行予定で編集中である。
(全会一致で承認)

議題2) リモート方式の講義を導入した運動療法機能訓練技能講習会開催の検討について

小川 近畿地方会の町井執行委員長から提出があった試案について検討をいただきたい。

坂原 講師との質疑応答ができることが講習会開催の条件になる。その点はどうか。

小川 ライブ形式での開催を検討している。

杉浦 技能講習会は実講義による学習と視聴覚教材による学習の両方で実施している。Zoomなどで質疑応答が可能なライブ形式で行い、視聴覚学習は協会本部のVimeoより動画配信する内容で計画することになる。厚生労働省へ提出する実施計画書の作成では受講者の視聴管理について、その方法をしっかりと定める必要がある。

柳澤 技能講習会のカリキュラムの再検討が必要と思われる。マッサージ師のカリキュラムも変更されているので現在の200時間講習を短縮する事や、レポート3題の提出などについても検討すべきではないか。懸念されるのは、インターネット環境などで受講者がリモート形式で問題なく受信できるのか不安である。

平野 今年度末にはリモート方式による技能講習会の開催申請について厚生労働省へ提出する予定である。カリキュラムの再検討など、柳澤先生含めて皆さんの協力を願う。

青柳 受講者の視聴管理の方式については、他団体の視聴管理を参考にしてはどうか。

厚生労働省へ提出後、来年度からのリモート方式による技能講習会開催となるのか。

杉浦 厚生労働省の承認が得られれば来年度実施してみる。その場合には、対面集合とオンライン研修を同時

並行で募集をかけての開催はできない。

小路口 例えば、地方会のどこかの支部で毎年リモート形式の技能講習会を開催すれば、全国の受講希望者はそこへ参加することはできる。同時並行で募集する必要性は無いと考える。

杉 浦 今後、地方会や支部が対面式だけで技能講習会を開催するには、受講希望者を30名以上集める必要がある。そのことを考えるとオンライン講習会の技術を獲得しておくべきだ。

小路口 本協会の技能講習会の在り方として、リモート方式での開催はいろいろクリアしなければならないことも有るが、来年以降のためにも取り組むべきだ。また、録画教材の視聴管理をどのようにするかが課題だと考える。

野 山 協会として今後、リモート方式の技能講習会を導入するに当たって、担当部署を決めて進めて行く方が良いのではないか。

平 野 小川学術局長を責任者として検討部会を立ち上げ具体化に向け取り組む。年度末には厚生労働省へ提出できるようにしたい。

小 川 今後検討を進めて行く。
(全会一致で承認)

議題3) 財務クラウドのリニューアルと今後の対応

野 山 現在利用しているサーバーのサポートが9月で終了となるため、今後、新たにサーバーを移管し契約しなければならない。費用としては、サーバー移管・システムバージョンアップの修正費用として60万円、保守費用は現行と同じく月/3万円、サーバーの契約費用として月/1万~3万円の経費がかかる。

小路口 サーバーを今年度中に移管しなければ何か不具合が発生するという

事なのか。

野 山 今後のサポート、セキュリティを考えると移管したほうが有用である。

(全会一致で承認)

議題4) 群馬県、熊本県、宮崎県支部の廃止並びに「定款細則第1条の3、地方会構成地域基準表」の変更について

杉 浦 会員の減少により各県から支部廃止の提案が出されている。群馬県支部の3名の会員は新潟県、栃木県、神奈川県支部へ移籍する。熊本県支部会員1名は長崎・佐賀県支部へ移籍。宮崎県支部会員1名は退会するので在籍者はいない。

また、廃止後の群馬県の区域は埼玉県支部の管轄となる。熊本県の区域は長崎・佐賀県支部の管轄となり、宮崎県の区域は鹿児島県支部の管轄となる。

野 山 廃止になる支部の名称はどのようなのか。

杉 浦 合併ではなく廃止になるため、支部の名称はなくなる。

寒河江 支部会員が何名に減少した場合、廃止される規程があるのか。

杉 浦 そのような規定は無い。
(全会一致で承認)

議題5) 提言・要望について(P20要望要旨参照)

(1)理学療法における東洋医療に関わる取り組みの推進

小路口 理学療法における東洋医療、手技療法の最新情報の収集を目的に、関連する団体のアドレスを協会ホームページ上にリンクさせてはどうか。

青 柳 この件については、5月に関連理事で意見交換をしていることで有り問題はないと思う。

野 山 統合医療については、協会の基本部分に関わることでも有り、慎重に検討すべきではないか。

小路口 ホームページのリンク集に掲載す

る目的はリンクした団体と全病理が関係をもつ、きっかけになって欲しいことと、会員がリンクしている団体のホームページを見ることで学びに繋がることもある。野山先生からの意見もあるので、今度の地方代表者会議で意見を聞いて見ることも良いのではないかと。

平野 リンクについては今後も検討していく。

(2)協会組織内の情報伝達の在り方について

小路口 本部役員間で協会業務の執行状況について、情報を共有できる体制を今以上に整えるべきではないかと感じている。また、コロナ禍でコミュニケーションが取れないこともあり、本部、地方役員間の意見交換を図る目的で Zoom を活用した地方会代表者会議を年に何回か開催すべきではないかと。

平野 地方会代表者会議については、リモート会議を年2回ぐらいの開催を検討している。
1回目は7月に行う予定で調整している。

(3)今後の学術活動についての提言

坂原 全国学会の開催の仕方を見直すべきだ。

平野 どのように変えるのか具体的に提案を。

坂原 本部事業なので Web 配信の担当者を決め、事務局でマニュアルを作成し、本部で実施してはどうか。

平野 本部だけで取り組むものではない。本部、地方会の役員及び全国の会員で取り組むことが大事だ。坂原理事もその一人でないか。

青柳 3月の理事会では坂原理事は対面式の全国学会にこだわっていたが、今回 Web 配信に考えが変わったようだが理由を聞きたい。また、

全国学会は本部だけで開催すれば良いと言うが、全国の会員が順番に学会を開催することで会員の資質向上にも繋がる。地方会や支部が学術活動を行うことに意味があるのではないかと。

坂原 全国学会を Web 配信で行うのであれば広島でやる必要性は無いように思う。本部が責任持って実施する方が良いのではないかと。広島でやる場合は対面式でないという意味がないように思う。

中川 今日の状況を考えると Web 配信やリモート会議を推進することが大事である。今の時代に即した活動を進めるべきだ。

青柳 坂原理事は具体的に実行可能な方策を述べてください。

坂原 地方代表者会議に次の担い手を同席させ今後の学術活動について議論したら良い。

小川 坂原理事の全国学会は Web で、地方学会は対面式だと決めつける理由が分からない。

全国学会は各地方会を輪番制で実施しノウハウを伝承してきている。地方組織の役員や会員が準備段階から参加することに意味があると考えている。名古屋学会の加藤学会長は足掛け3年にわたって準備を続け開催をしている。

加藤 足掛け3年苦勞しましたが現況を考えると苦渋の決断でした。協会として初めての Web 学会として開催に取り組んだ。今回の経験が次につながると良いと思う。準備委員が頑張ってくれたので何も無駄ではなかったと思っている。

理事会では、多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

第 62 回定時代議員総会 議事録

1. 定時代議員総会の決議があったものとするみなされた事項の内容
 - 第 1 号議案 令和 2 年度 事業報告
 - 第 2 号議案 令和 2 年度 収支決算報告書及び監査報告
 - 第 3 号議案 表彰に関する承認
栄誉賞
令和 2 年 春の叙勲 旭日双光章 猪野塚 孝徳 氏
令和 2 年 秋の叙勲 旭日小授章 平野 五十男 氏
 - 第 4 号議案 第 70 回日本理学療法学会の学会長、準備委員長の承認 審議未了
 - 第 5 号議案 第 71 回日本理学療法学会 開催地の決定
第 71 回日本理学療法学会の開催地を、関東甲信越地方会茨城県支部とする。
 - 第 6 号議案 役員改選管理委員の選任
坂 田 武 (北海道・東北・関東甲信越)
松 田 覚 (北陸・中部・近畿)
前 川 良 男 (中国・四国・九州)
 - 第 7 号議案 名誉会員の承認
兵庫県支部 三 宅 健一郎 氏
- ※第 4 号議案
第 70 回日本理学療法学会の開催地、学会長、準備委員長が未定のため、決定後に、理事会・代議員総会で承認を図る。
2. 定時代議員総会の決議があったとみなされた事項の提案者
会長 (代表理事) 平野五十男
3. 定時代議員総会の決議があったものとみなされた日
令和 3 年 5 月 28 日
4. 議事録の作成に係る職務をおこなった理事
会長 (代表理事) 平野五十男
5. 代議員総数 18 名の同意書
別添のとおり。
令和 3 年 5 月 13 日、会長 (代表理事) 平野五十男が代議員の全員に対して、定時代議員総会の決議の目的である事項について、上記の内容の議案書を発送し、当該提案につき令和 3 年 5 月 28 日までに、代議員全員から文書により同意する旨の意思表示を得たので、法人法第 58 条の規定に基づき、当該提案を承認可決する旨の定時代議員総会決議があったものとみなされた。
以上のとおり、定時代議員総会の決議があったものとみなされたことを明確にするため、この議事録を作成し、議事録作成者が記名押印する。

令和 3 年 5 月 28 日

公益社団法人 全国病院理学療法協会
会長 (代表理事) 平 野 五十男



新型コロナウイルス感染拡大に係る 登録更新期限延長の特例措置の継続実施について

公益社団法人 全国病院理学療法協会
会 長 平 野 五十男
学術局長 小 川 嗣 人

新型コロナウイルス感染拡大により、令和3年1月7日には緊急事態宣言が発令され、感染終息の見通しも不明である。現下の状況では、協会事業の正常な実施は困難であり、技能認定登録事業の認定単位取得、認定更新にも重大な支障が生じております。

この状況を鑑み、現下の新型コロナウイルスの全国的な感染拡大は、技能認定登録制度規程第2条第5項に規定の更新期限延長の要件、「(巨大自然)災害」に準ずるものとして、令和2年度に引き続き、下記の特例措置を設ける。特例措置の内容は、技能認定登録制度規程の附則に付記する。

<特例措置>

令和3年度中の認定登録更新予定者（令和2年度の更新期限延長者も含む）は、更新期限を各都道府県支部長の承認により、1年間の延長を技能認定登録制度委員会に申請できるものとする。なお、委員会が申請を承認した更新予定者には、更新期限延長の「登録延長証明書」を交付する。延長手続きの手数料は徴収しない。なお、延長手続きの詳細については、令和2年度に同様とする。

附則 この規程は、令和3年4月1日より施行する。

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	3,203	3,152	51
② 受取入金	30,000	171,000	△ 141,000
③ 受取会費 正会員受取会費	28,870,000	31,236,000	△ 2,366,000
④ 事業収益			
学会事業収益	△ 88,000	2,777,000	△ 2,865,000
講習会事業収益	1,434,000	11,133,500	△ 9,699,500
技能認定登録事業収益	1,345,000	1,560,000	△ 215,000
⑤ 受取補助金	0	50,000	△ 50,000
⑥ 受取寄付金	0	0	0
⑦ 雑収益			
広告料収益	0	651,000	△ 651,000
雑収益	89,984	428,000	△ 338,016
経常収益計	31,684,187	48,009,652	△ 16,325,465
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	900,000	900,000	0
給料手当	1,038,853	1,037,329	1,524
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	2,886,586	11,013,183	△ 8,126,597
通信運搬費	1,750,053	1,933,295	△ 183,242
減価償却費	211,095	221,078	△ 9,983
消耗品費	1,587,995	2,339,455	△ 751,460
修繕費	0	6,480	△ 6,480
印刷製本費	3,581,160	6,613,136	△ 3,031,976
光熱水料費	117,551	125,581	△ 8,030
賃借料	313,460	3,454,174	△ 3,140,714
保険料	0	0	0
諸謝金	1,155,942	6,613,628	△ 5,457,686
租税公課	96,525	66,750	29,775
支払負担金	0	0	0
雑事業費計	104,485	1,270,631	△ 1,166,146
事業費計	13,743,705	35,594,720	△ 21,851,015

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
②管 理 費			
役 員 報 酬	300,000	300,000	0
給 料 手 当	346,284	345,776	508
福 利 厚 生 費	0	0	0
会 議 費	0	0	0
旅 費 交 通 費	962,195	3,676,869	△ 2,714,674
通 信 運 搬 費	583,351	644,432	△ 61,081
消 耗 品 費	529,332	779,818	△ 250,486
修 繕 費	372,167	362,115	10,052
印 刷 製 本 費	1,753,239	2,034,543	△ 281,304
光 熱 水 料 費	39,184	41,861	△ 2,677
賃 借 料	821,706	895,616	△ 73,910
保 険 料	0	0	0
諸 謝 金	142,087	111,369	30,718
租 税 公 課	32,175	22,250	9,925
支 払 負 担 金	0	0	0
雑 減 価 償 却 費	5,077,242	5,612,482	△ 535,240
	70,364	73,693	△ 3,329
管理費計	11,029,326	14,900,824	△ 3,871,498
經常費用計	24,773,031	50,495,544	△ 25,722,513
評価損益等調整前当期經常増減額	6,911,156	△ 2,485,892	9,397,048
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	6,911,156	△ 2,485,892	9,397,048
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,911,156	△ 2,485,892	9,397,048
一般正味財産期首残高	59,848,739	62,334,631	△ 2,485,892
一般正味財産期末残高	66,759,895	59,848,739	6,911,156
II 指定正味財産増減の部			
1 増加の部			
受 取 利 息	191	182	9
2 減少の部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	191	182	9
指定正味財産期首残高	1,829,725	1,829,543	182
指定正味財産期末残高	1,829,916	1,829,725	191
III 正味財産期末残高	68,589,811	61,678,464	6,911,347

貸借対照表

令和3年3月31日現在

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	10,183,452	3,396,027	6,787,425
未収会費	3,634,000	3,330,000	304,000
前払全国学会事業費	0	0	0
前払地方学会事業費	0	0	0
前払管理費	0	0	0
前渡金	0	0	0
流動資産合計	13,817,452	6,726,027	7,091,425
2 固 定 資 産			
(1) 特定資産			
高木賞等基金	1,829,916	1,829,725	191
記念学会基金	1,290,914	1,290,785	129
公益事業基金	37,036,578	37,033,585	2,993
減価償却引当資産	0	0	0
特定資産合計	40,157,408	40,154,095	3,313
(2) 有形固定資産			
建物	4,791,089	5,072,548	△ 281,459
什器備品	1	1	0
土地	11,063,334	11,063,334	0
その他の固定資産合計	15,854,424	16,135,883	△ 281,459
固定資産合計	56,011,832	56,289,978	△ 278,146
資 産 合 計	69,829,284	63,016,005	6,813,279
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	931,473	1,119,541	△ 188,068
前受会費	308,000	218,000	90,000
前受事業収益	0	0	0
流動負債合計	1,239,473	1,337,541	△ 98,068
2 固 定 負 債			0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	1,239,473	1,337,541	△ 98,068
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	1,829,916	1,829,725	191
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	40,157,408	40,154,095	3,313
正味財産合計	68,589,811	61,678,464	6,911,347
負債及び正味財産合計	69,829,284	63,016,005	6,813,279

監 査 報 告 書

会 長 平 野 五 十 男 殿

令和3年4月30日

公益社団法人 全国病院理学療法協会

監 事 中 川 保

監 事 大 内 田 義 己



私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までび事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に務めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

なお、今回の監査は、新型コロナウイルスの感染拡大に係る緊急事態宣言により、協会事務所に参集困難なため、各監事自宅に必要書類の郵送を受けての書面審査による監査報告となりました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

会員実態調査の再調査実施について(お願い)

この度、会員の勤務状況などを把握する目的で、再度アンケート調査を実施いたします。

平成 28 年度に行いました会員実態調査では、回収率が 48.5%にとどまり、今回の令和 2 年度の会員実態調査でも回答率が 49.96%でした。これでは会員の実態を正確に把握することができず、診療報酬・介護報酬改定における要望に反映することができません。

全会員からの回収を目指しておりますので、広報に同封いたしましたアンケート用紙を、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

<調査の目的>

会員の勤務実態を把握し、診療報酬・介護報酬の改定における協会要望の基礎資料として協会活動に反映させる目的で実施します。

<調査の方法>

広報 241 号に同封されているアンケート用紙の調査項目に対し、回答をお願いします。

<回収の方法>

- ・ 今回のアンケートの回答は、協会本部へ提出してください。
- ・ 提出方法は以下の内、どちらかの方法で行ってください。
- ① 回答したアンケート用紙を協会本部へ郵送する。
- ② 回答したアンケート用紙の添付ファイルをメールで協会本部へ送信する。
- ③ 回答したアンケート用紙の番号をメールで協会本部へ送信する。

ご多用のところお手数をお掛け致しますが、会員実態調査の取り組みにご協力をお願い致します。

以上

諸会議及び役員渉外行動報告

月日	用務地	用務内容
3/12	リモート会議	会員のエビデンス集積に係る会議(青柳・小川・丹羽・中川)
20	リモート会議	会員のエビデンス集積に係る会議(青柳・小川・丹羽・中川)
26	リモート会議	会員のエビデンス集積に係る会議(青柳・小川・丹羽・中川)
4/9	協会事務所	JCB会員リストデータ突き合わせ作業(平野・青柳)
13	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
17	協会事務所	葵税理士法人 財務処理(平野・杉浦)
20	協会事務所	品川シルバー人材センター紹介の事務員就職予定者との面接(平野・杉浦)
23	リモート会議	東洋療法研修試験財団 生涯研修実施作業部会(青柳)
24	協会事務所	葵税理士法人 財務処理(平野・杉浦)
28	協会事務所	葵税理士法人 財務処理(平野・三浦・杉浦)
28	協会事務所	令和2年度 監査会関係資料発送作業(平野・杉浦)
5/5	協会事務所	理事会書面表決関連文書発送作業(平野)
6	品川税務署 品川都税事務所	納税証明書・内閣府提出の公益法人事業報告(平野)
7	キュアーズ大崎店	会計ファイル等の保管のため貸しロッカー店と契約(平野)
15	協会事務所	葵税理士法人 財務処理(平野・杉浦)
16	協会事務所	会計ファイル等の整理(平野・三浦)
18	協会事務所	東日本銀行への定期預金戻し入れ(平野)
19	リモート会議	医療マッサージ師の雇用と診療報酬の適正評価に係る会議(小路口・小川・青柳・丹羽・野山・寒河江)
21	協会事務所	JCB担当者と来季の会費引き落としに係る協議(平野)
23	キュアーズ大崎店	会計ファイル等の貸しロッカーへの搬入(平野・青柳・杉浦)
29・30	今池ガスホール・名古屋	第69回 日本理学療法学会web学会(平野・小川・野山)
6/6	杉山記念館	令和3年度 杉山検校遺徳顕彰会評議員会(平野)
9	協会事務所	葵税理士法人 財務処理(平野・杉浦)
11	リモート会議	あはき等法推進協議会 マッサージ等将来研究会(小川)
12	協会事務所	理事会对策協議(平野・小川・青柳・杉浦)
13	リモート会議	令和3年度 第2回理事会(理事会構成員)
17	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛 先	文 書 名
4/1	1	会員・代議員 各位	第62回 定時代議員総会開催通知(広報240号)
8	2	地方会執行委員長・支部長 各位	令和3年度 交付金等について
8	事務連絡	希望者(勤務先)	令和3年度 協会費の請求書の送付
8	3	あいち統合医療代表取締役社長 矢島茂弘	第43回 理学療法指導者講習会 講師依頼について
14	4	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録の更新について
15	5	支部長 各位	令和2年度 技能認定登録制度に係る単位取得講習会等開催報告書の提出について
15	6	支部長 各位	東洋療法研修試験財団に係る「財団共催生涯研修会」の開催申請書について
15	7	支部長 各位	東洋療法研修試験財団に係る申請書について
18	8	デイジー横浜	令和3年度 広報・連盟報のデイジー版・複製版製作に係る業務委託契約書の送付について
19	9	地方会執行委員長・支部長 各位	地方会担当者届・支部担当者届の提出のお願い
22	10	日本リウマチ財団理事長 高久史磨	後援名義使用の許可について
22	11	石田和弘(退会者)	JCBによる会費引き落としに係るお詫び
29	12	監事 各位	令和2年度 監査(書面監査)の資料送付について
5/5	13	理事・監事 各位	第62回 定時代議員総会に係る理事会決議の書面表決について(お願い)
5	14	退会者(23名)	JCBによる会費引き落としについて(お詫び)
13	15	代議員 各位	第62回 定時代議員総会に係る決議の書面表決について(お願い)
24	16	理事会構成員 各位	令和3年度 第2回理事会の開催について
6/3	17	北海道地方会 執行委員長 工藤英範	第70回 日本理学療法学会開催について(再々度のお願い)
3	18	理事・監事・執行委員長 各位 該当支部長 各位	会費長期滞納者に対する会員資格喪失(除籍)の実施について
3	18-2	長期滞納者(9名)	過年度会費納入のお願いと会員資格の喪失について
3	事務連絡	猪野塚孝徳(元相談役)	栄誉賞(賞状)と記念品の贈呈(宅配便)
8	19	理事会構成員 各位	令和3年度 第2回理事会討議資料の送付について
12	20	支部長 各位	令和2年度 技能認定登録制度に係る「承認単位通知書」の送付
14	21	厚生労働事務次官	令和3年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
14	22	日本医師会・他5団体	令和3年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
15	23	地方会執行委員長・支部長 各位	第44回 理学療法指導者講習会の受講者推薦について
15	24	地方会執行委員長・支部長各位	令和2年度 第43回理学療法指導者講習会 伝達講習(オンライン)配信について
15	25	地方会執行委員長 各位 理事会構成員 各位	地方会代表者と理事会構成員の意見交換会(オンライン)開催について(お知らせ)
16	26	梅田弘之実行委員長	令和3年度 運動療法機能訓練技能講習会開催の承認
21	27	支部長・地方会執行委員長 各位	令和3年度 第1四半期 会計ファイルの送付について

第 69 回 日本理学療法学会 動画配信・会員発表案内

第 69 回 日本理学療法学会 特別講演等動画はこちら

- ※ 学会講演等動画視聴によるオンライン参加について
- 配信期間：令和 3 年 6 月 27 日(日)～7 月 25 日(日)
- 事前参加申込者のみ視聴可能です
- 講演等動画視聴受講には「パスワード」が必要です
- 視聴は、Microsoft・edge または Google・chrome をご使用ください

市民公開講座 動画はこちら

(PDF) 市民公開講座 (一般公開)

- ※ 市民公開講座動画視聴・PDF 閲覧によるオンライン参加について
 - 配信期間：令和 3 年 6 月 27 日(日)～7 月 11 日(日)
 - 動画視聴・PDF 閲覧は無料です (一般公開)
 - 視聴は、Microsoft・edge または Google・chrome をご使用ください
-
- ※ 学会会員発表 PDF 閲覧によるオンライン参加について
 - 掲載期間：令和 3 年 6 月 27 日(日)～7 月 25 日(日)
 - 事前参加申込者のみ閲覧可能です
 - 閲覧受講には「パスワード」が必要です
 - 閲覧は、Net-reader・neo (音声ブラウザ) が対応しています

・ 会員発表	1 ～ 5	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	6 ～ 10	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	11 ～ 15	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	16 ～ 20	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	21 ～ 25	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	26 ～ 30	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	31 ～ 35	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	36 ～ 40	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>
・ 会員発表	40 ～ 44	<u>(PDF) 発表文</u>	<u>(PDF) PowerPoint</u>

学会事務局：日比野 智

連絡先：090-6579-0993

E-mail：aoringo@orihime.ne.jp

令和2年度 第43回 理学療法指導者講習会 Web講習会開催案内(伝達講習会)

第43回理学療法指導者講習会伝達講習会を下記のとおり協会ホームページから配信するオンライン伝達講習会といたします。

受講方法	<u>視聴希望者は地方会執行委員長または支部長へメールでお申し込みください。</u>
申込期間	令和3年7月1日～7月15日(15日間)
タイトル	「皮膚運動学の基礎と臨床」
講師	文京学院大学 副学長 福井 勉 先生
視聴期間	令和3年8月1日～8月31日(31日間)
単位数	5単位
受講料	会員 2,000円 会員外 4,000円

令和3年度 第44回 理学療法指導者講習会のご案内

日時	令和3年10月17日(日)9:00～16:00
会場	iビル(アイビル) 愛知県一宮市尾張一宮駅前ビル 〒491-0858 愛知県一宮市栄3丁目1番2号 TEL 0586-28-9153
タイトル	「腰痛疾患に対する神経ブロック鍼療法」 座学・実技
講師	株式会社 あいち統合医療 代表取締役社長 名古屋本院 院長 鍼灸師 矢島 茂弘 先生
受講者	40名(対面式) 新型コロナ感染予防対策にご協力願います
単位数	5単位
旅費	協会負担
申し込み締め切り	<u>令和3年8月31日(厳守)</u>

提言・要望(要旨)

提案者：小路口 憲

要望 1. 理学療法における東洋医療に関わる取り組みの推進

<目的>

医療、介護における理学療法の従事者として、理学療法における東洋医療の最新情報の収集を目的に、下記団体のアドレスを協会ホームページ上にリンクし、東洋療法の研鑽に活用する。

<要望内容>

1. 厚生労働省「統合医療」情報発信サイト並びに、東洋医療に関わる関係団体の情報収集を目的として、協会ホームページに下記団体の団体名及び URL を標記する。

- ①厚生労働省「統合医療」情報発信サイト (eJIM)
<https://www.ejim.ncgg.go.jp/public/index.html>
- ②一般社団法人 日本統合医療学会 (IMJ)
<http://imj.or.jp>
- ③一般社団法人 エビデンスに基づく統合医療研究会 (eBIM 研究会)
<http://www.ebim.or.jp/>
- ④体表解剖学研究会
<http://surface-anat.com/index.html>
- ⑤医療鍼灸協会
<https://www.iryoshinkyu.com>
- ⑥一般社団法人 日本東洋医学系物理療法学会
<http://jsop.info/wp2018/>
- ⑦日本徒手理学療法学会
<http://m-pt.jp>

要望 2. 協会組織内の情報伝達の在り方について

これまでの協会業務の執行状況の伝達については、理事会で事後報告によって本部役員へ情報が開示され協会運営を行ってきておりますが、業務の執行状況を把握する上では機会が少ないのではないかと感じております。

本部役員間で協会業務の執行状況について、情報を共有できる体制を整えるべきではないでしょうか。

また、本部組織、地方組織間のコミュニケーションを図る上で、地方会代表者会議を年数回の開催を検討すべきではないでしょうか。

本部及び地方役員間の情報の共有を図るべきではないでしょうか。

ご検討を宜しくお願いいたします。

以上

要望3. 今後の学術活動についての提言

- 1) 会員への学術、技術の向上を目的とした教育、研修の在り方を理事会として既存の活動方針について変更、改変すべきである。協会会員が1200名余りに減少した中で、学術、研修会も地方会員と一体感を持って行わないと会員減少にますます拍車がかかると思われる。会員が自ら資質向上に努力できるように環境を整えてあげるべきである。
- 2) Web配信事業を活用すべきであり、担当理事を配置し統括すべきではないか。
- 3) 学会、伝達講習会、研修会などのWeb配信マニュアルの作成と受講者の責任と義務と権益の確保についてルール作りをすべきではないか。
- 4) 受講者への受診ハード機器の操作方法の指導と活用方法のマニュアルを作成すべきではないか。
- 5) 本協会のホームページでいつでも見られる研修動画のコンテンツを作成し、単位申請ができればなおさら良いです。

以上

令和3年度 認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会 開催案内

本講習は、日本の国家免許を有するあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師・看護師等が医療・介護に特化した最新の知識と専門的な技術を修得した専門職を育成することを目的に実技を含む30単位(4日間)の充実したカリキュラムで受講者を募集しています。

開催日 : 令和3年11月27日(土)・28日(日) / 令和4年2月5日(土)・6日(日)

会場 : 東京医療福祉専門学校

受講形態 : 対面式、ライブ配信、オンデマンド配信(予定)

募集期間 : 令和3年7月1日～令和3年8月27日(予定)

講習会事務局 〒360-0012 埼玉県熊谷市上之1777-4

TEL 070-6454-9541 (PHS) (月曜日～金曜日 9時～12時・13時～16時)

<https://manintei.amebaownd.com/>

構成団体 (一社) 日本東洋医学物理療法学会 (公社) 全日本鍼灸マッサージ師会
(公社) 全国病院理学療法協会 (社福) 日本視覚障害者団体連合
(公社) 日本あん摩マッサージ指圧師会 (公社) 東洋療法学校協会
日本理療科教員連盟

令和3年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表（暫定）

新型コロナウイルス感染拡大状況により、今後も変更の可能性が有ります。
最新情報は協会ホームページでご確認ください。（令和3年6月13日現在）

	代議員総会 理事会・監査会等	広報・理療発行	学会・記念式典等
令和3年 4月	令和2年度 監査 29日(祝)		
5月	第62回 定時代議員総会 (みなし開催) 第1回 理事会 (みなし開催)	理療196号	第69回 日本理学療法学会(Web学会)
6月	第2回 理事会 13日(リモート開催)		
7月		広報241号	
8月		理療197号	
9月			第60回 東北理学療法学会 (令和4年度へ延期) 運動療法機能訓練技能講習会 開講式 関東甲信越地方会 神奈川県支部 (日時・会場未定)
10月			第44回 理学療法指導者講習会 17日(日)愛知県一宮市 第5回 関東甲信越理学療法学会 (令和4年度へ延期)
11月	第3回 理事会 14日(日)	理療198号	第47回 中国四国理学療法学会 7日(日)香川県高松市
12月		広報242号	
令和4年 1月			
2月		理療199号	運動療法機能訓練技能講習会 修講式 関東甲信越地方会 神奈川県支部 (日時・会場未定)
3月	第4回 理事会 6日(日)	広報243号	第29回 運動療法機能訓練技能講習会 認定試験(日時・会場未定)

※ 広報・理療は、編集状況により、発行が遅れることがあります。

※ 令和3年度 運動療法機能訓練技能講習会は、関東甲信越地方会神奈川県支部で開催します。

※ 理学療法指導者講習会及び地方学会は、標記のとおり準備中または、延期となっています。

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03 (3494) 1948

FAX 03 (3494) 1950

ホームページアドレス <http://nhpta.net>

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 小路口 憲